

放射線（Radiology）治療終了時の指示

病院から帰宅する

搬送担当者が安全にお子様を車に乗せるお手伝いをします（鎮静剤の使用後はバスを使わないこと）。自分でしっかり立てるようになるまでお子様を歩かせないようにしてください。

退院後の活動

お子様の意識が普通の状態になり、普通に動作できるようになるまで成人が常時付き添う必要があります。

麻酔後

- 処置が済んだあとお子様を一日安静にさせてください。

鎮静剤使用後

- お子様は長時間眠る場合があります。鎮静剤の使用後は最大 8 時間眠り、最大 24 時間眠気を訴えたり過敏になる場合があります。
- お子様がお眠っているときに、簡単に起こせるようにしておく必要があります。
- 歩行したり這ったりしている際に不安定になるため、お子様が怪我をしないように保護者や他の成人が保護する必要があります。

役に立つヒント

- 低年齢のお子様（乳児や幼児）は、必ずカーペット敷きのフロアで遊ばせてください。安全ゲートで階段やドアをブロックしてください。隅がとがったテーブルにはパッドを装着してください。車輪付きの玩具や椅子は使用しないでください。
- 年齢の高いお子様（幼稚園/保育園児、青少年）は成人が監視できる場所のフロアまたはソファで休ませてください。歩行時にはお子様に付き添ってください（例えば、起き上がるときや寝室に向かうとき）。
- お子様が普通の意識状態や普通に動作できる状態に回復してから 1 時間経つまで、自転車、水泳、ドライブ、スポーツ、外遊び、尖った物品を扱う、階段を昇るなど危険の可能性がある活動は控えてください。
- お子様はまだ眠気を訴えたり、うまく歩行できなかったりする場合は、検査後にあるいは翌日まで学校やデイケアにお子様を行かせないでください。

治療後の食事

- 水、Kool-Aid®、ソフトドリンク、澄んだジュース、アイスクャンディ、Jello®などの澄んだ液体をお子様に摂取させることから始めます。
- お子様澄んだ液体を摂取できるようになってから、軽食の摂取を始めます（例、スープ、クラッカー、プリン、トースト、アップルソース）。
- 軽食を摂取できるようになってから、通常の食事に戻ります。

嘔吐した場合の指示

- 約 30 分間お子様の胃を落ち着かせてから、もう一度澄んだ液体を飲ませます。
- 嫌がる場合は、澄んだ液体を無理に飲ませないでください。
- ゆっくりと飲ませるようにしてください（30 分間で約 113～226 グラム）。
- お子様二回以上嘔吐した場合は、以下の指示にしたがって医師や看護師に連絡してください。

- 澄んだ液体を嘔吐せずに飲んだ後は、30分待機してから固形のご飯やミルクを与えます。それ以降、通常の飲食に戻ります。

担当医師を呼ぶケース

- 睡眠状態から起こすことができない
- 飲食物を摂れない
- 嘔吐する
- 痛みを訴える
- 発疹が出る
- 24時間以内に普通の意識状態や普通に動作できる状態に回復しない

ご質問がある場合は、放射線科、513-636-4251（オプション5を押す）または1-800-344-2462（4251、5の順に押す）までお問い合わせください。

お問い合わせ

放射線治療終了時または健康上の問題の詳細については、ファミリーリソースセンター（Family Resource Center）、513-636-7606または小児科医までお電話ください。

改訂 2021年06月

